第1 事業概要

1 件名

Iburi's外国人材受入促進事業委託業務

2 実施期間

令和7年5月13日～令和7年12月26日

3 本事業の目的

管内事業者の人手不足が深刻な課題となっているとともに、国内の人口減少に歯止めがかからない中で、人手不足の解消に向け、海外から多様な人材の呼び込みを図るため、管内事業者の外国人材受入に係る現状を把握するとともに、管内事業者に対し外国人材受入に向けた最新の情報やノウハウを提供し、労働力確保を支援する。

4 事業実施概要

(1)胆振地域の外国人材実態等調査

ア　胆振管内の外国人材受入状況（統計）の把握及び傾向や課題の分析
イ　外国人材の採用に向けての在留資格、採用方法、注意事項等に関する情報収集
ウ　胆振管内先行事例調査
エ　胆振管内自治体の補助や助成などに関する情報収集

(2)外国人材受入促進セミナー＆パネルディスカッション

5 受託者

キャリアバンク株式会社

6 広報

本事業の広報は、胆振振興局様とキャリアバンクをはじめ、苫小牧市、室蘭市、伊達市、登別市にもご協力いただき、広報紙、チラシ、SNSでの広報活動に加え、特設ホームページを作成し広報活動を行った。(広報紙：室蘭市、苫小牧市、伊達市/HP掲載：室蘭市、苫小牧市/LINE投稿：室蘭市、苫小牧市、登別市/SNS（X、Facebook）：室蘭市、登別市)

第2 胆振地域の外国人材実態等調査

外国人材受入促進を図るため、以下の項目について胆振管内の状況調査を実施した。

ア　胆振管内の外国人材受入状況（統計）の把握及び傾向や課題の分析
イ　外国人材の採用に向けての在留資格、採用方法、注意事項等に関する情報収集
ウ　胆振管内先行事例調査
エ　胆振管内自治体の補助や助成などに関する情報収集

1 胆振管内の外国人材受入状況（統計）の把握及び傾向や課題の分析

（1）外国人数の推移

胆振管内においても外国人材の採用が進んでいる。出入国在留管理庁の統計によると胆振管内の在留外国人は4,461人となった（令和６年12月末時点）。

５年前（令和元年12月末）対比では、胆振管内で働く外国人材は184%となっており（2,038人増）、全国の増加率（39%）より高く、比較的早いペースで外国人材雇用が進んでいると言える。

【各市町の外国人数の推移】

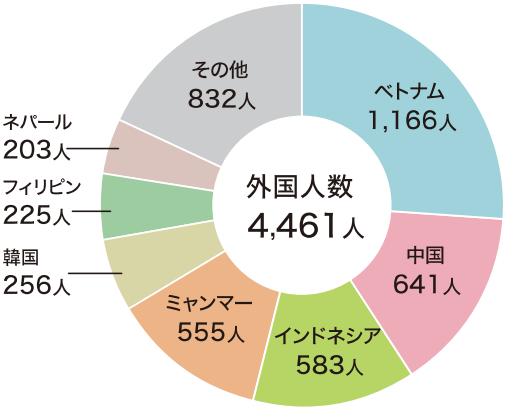
市町村／年月	2019年6月	2024年12月	増　減	2019年6月比
苫小牧市	738人	1,682人	+944人	228%
白老町	218人	401人	+183人	184%
厚真町	43人	62人	+19人	144%
安平町	76人	154人	+78人	203%
むかわ町	96人	226人	+130人	235%
東胆振 計	1,171人	2,525人	+1,354人	216%
室蘭市	454人	591人	+137人	130%
登別市	246人	434人	+188人	176%
伊達市	229人	385人	+156人	168%
洞爺湖町	131人	301人	+170人	230%
豊浦町	103人	118人	+15人	115%
壮瞥町	89人	107人	+18人	120%
西胆振 計	1,252人	1,936人	+684人	155%
総　計	2,423人	4,461人	+2,038人	184%

出典：法務省（各年12月末時点）

(2)国籍別の割合

胆振管内の外国人材を国籍別に見ると、ベトナムが最も多く1,166人、次いで中国641人、インドネシア583人、ミャンマー 555人となっている。

■国籍別外国人割合



■各市町の国籍別外国人割合

単位:人

項目	合計	ベトナム	中国	インドネシア	ミャンマー	韓国	フィリピン	ネパール	その他
苫小牧市	1,682	416	226	204	158	103	95	138	342
白老町	401	159	69	97	3	21	5	5	42
厚真町	62	12	2	0	2	2	34	1	9
安平町	154	14	7	5	12	6	21	2	87
むかわ町	226	76	66	27	12	3	6	6	30
東胆振 計	2,525	677	370	333	187	135	161	152	510
室蘭市	591	104	145	49	94	56	24	11	108
登別市	434	79	52	54	105	39	18	27	60
伊達市	385	193	28	26	67	13	5	8	45
洞爺湖町	301	92	21	61	69	3	10	0	45
豊浦町	118	17	8	41	13	6	2	3	28
壮瞥町	107	4	17	19	20	4	5	2	36
西胆振 計	1,936	489	271	250	368	121	64	51	322
総　計	4,461	1,166	641	583	555	256	225	203	832

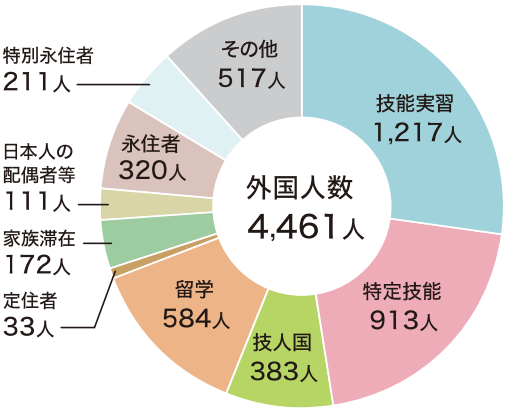
出典:出入国在留管理庁(令和6年12月末時点)

(3)在留資格別の割合

在留資格別では「技能実習」が最も多く1,217人で、全体の約4分の1を占める。次いで「特定技能」913人、「留学」585人、「技術・人文知識・国際業務※」383人のとなっている。(下記、円グラフ参照)

※「技術・人文知識・国際業務」以下、「技人国」と表記する。

■在留資格別外国人割合



■各市町の在留資格別外国人割合

単位:人

項目	合計	技能実習	特定技能	技人国	留学	定住者	家族滞在	日本人の配偶者等	永住者	特別永住者	その他
苫小牧市	1,682	432	301	152	307	15	87	40	119	101	128
白老町	401	159	125	21	23	4	17	6	20	12	14
厚真町	62	26	7	1	0	0	2	3	5	2	16
安平町	154	33	19	5	2	4	0	5	14	4	68
むかわ町	226	47	69	60	0	1	2	2	19	4	22
東胆振 計	2,525	697	521	239	332	24	108	56	177	123	248
室蘭市	591	115	50	10	238	5	19	19	55	47	33
登別市	434	106	65	44	14	2	24	12	32	26	109
伊達市	385	157	118	18	0	0	12	10	26	11	33
洞爺湖町	301	106	86	23	0	1	3	10	12	1	59
豊浦町	118	28	54	4	0	0	0	2	15	3	12
壮瞥町	107	8	19	45	0	1	6	2	3	0	23
西胆振 計	1,936	520	392	144	252	9	64	55	143	88	269
総　計	4,461	1,217	913	383	584	33	172	111	320	211	517

出典:出入国在留管理庁(令和6年12月末時点)

2 外国人材の採用に向けての在留資格、採用方法、注意事項等に関する情報収集

（1）調査の概要

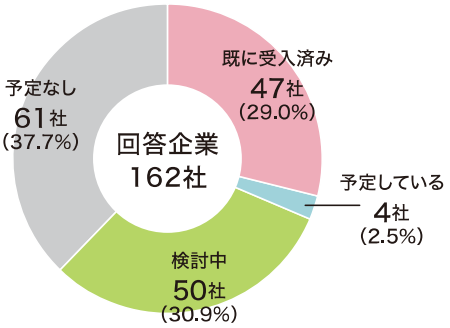
令和8年3月卒業予定者に対する「合同企業説明会」（西胆振地域：令和7年6月16日（月）室蘭会場、東胆振地域：令和7年6月24日（火）苫小牧会場）にて、参加企業162社を対象に外国人採用状況を調査した。（主催者のアンケートに調査項目を含める形で、回答を回収。）

調査方法	合同企業説明会の会場にて アンケート用紙を配布し回収	調査日	2025年6月16日（室蘭会場） 2025年6月24日（苫小牧会場）
調査対象者	参加企業162社（重複除く）	回収状況	回答企業162社

［外国人材の受入状況（回答企業162社）］

（回答企業の外国人材受入状況の割合）

- 既に受入済み：47社（29.0%）
- 検討中：50社（30.8%）
- 予定している：4社（2.5%）
- 予定なし：61社（37.6%）



（2）調査結果

162社中、101社が外国人材について受け入れているか、前向きに検討されているという結果が出た。全体の約半数の企業が外国人材の受入を予定していない一方で、4分の1以上の企業が既に受け入れている。

［「既に受入済み」と回答した企業の人数別内訳］

（外国人材を既に受け入れている企業（47社）の、人数ごとの内訳）

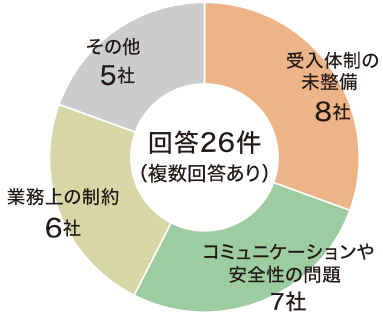
- 1～9名：21社（44.7%）
- 10～99名：19社（40.4%）
- 100名以上：3社（6.4%）
- 人数記載なし：4社（8.5%）

外国人材を受け入れている企業の多くが、1～9名または10～99名の規模で雇用している。

［「予定なし」の理由（複数回答あり）］

（外国人材の受入を予定していない企業が挙げた主な理由）

- 受入体制の未整備：8社
- 業務上の制約：6社
- コミュニケーションや安全性の問題：7社
- その他：5社



受入体制の未整備や、業務上での言語・コミュニケーションの課題が、外国人材の雇用を妨げる要因となっており、受入後の運用に関する不安が背景にあることが読み取れる。

第3 胆振管内先行事例調査

胆振管内の事業者で、外国人材の採用・受入を行っている以下の４事業者にヒアリングを実施した。ヒアリング内容は、企業に対しては外国人材の採用、受入・定着の課題など、外国人社員に対しては入社のきっかけを含め仕事についてヒアリングを行った。

また以下企業は12月に開催したセミナー・パネルディスカッションにもご登壇いただいた。

	企業名	業種	実施日
1	株式会社白老フーズ	製造業（水産食料品製造業）	2025年8月27日
2	株式会社ホテルニュー王子	宿泊業、飲食サービス業（ホテル業）	2025年9月19日
3	株式会社久恵比寿	宿泊業、飲食サービス業（外食業）	2025年10月31日
4	とうや湖農業協同組合	農業	2025年11月10日

1 株式会社白老フーズ

企業名	株式会社白老フーズ	従業員数	73名（うち外国人社員48名）
業種	製造業（水産食料品製造業）	外国人材採用状況	国籍別：インドネシア27人、中国21人 在留資格別：特定技能37人、技能実習11人
設立年	2008年		
所在地	北海道白老郡白老町字竹浦101番地26		
資本金	10,000千円		

（1）企業ご担当者様からの声

外国人採用の経緯

もともと技能実習生を受け入れしており、制度の変更で特定技能生として採用することが出来るようになったことが始まり。日本人の採用も行っていたが、定着率が低く応募数も年々減ってきていたため、特定技能生の採用を徐々に増やした経緯がある。

苦労した点や課題

はじめは中国での採用だったが、募集をかけても集まらない年度もあった。今は、東南アジア圏の採用が多くなった。
今後数年の間は、募集をしても満足に人材を採用できると思う。十数年のスパンで考えたときには、募集しても満足に集まらない時代が来るかもしれないと考えている。

採用によって職場にもたらした効果

言葉の壁はあるものの、交流が生まれ職場が明るくなったように思う。また外国人社員の年齢層も比較的若く、一致団結した時の勢いがあり、団結力が生まれたと思っている。

（2）外国人社員様からの声

基本情報

国籍：インドネシア　在留資格：特定技能１号　滞在歴：留学1年・特定技能1ヶ月　日本語：流ちょうな日本語

来日、入社の経緯

以前１年間留学経験があり、馴染みのある日本で仕事をしたい、稼ぎたいと思い来日した。色々な作業を通して学べると思い、応募し入社を決めた。

胆振管内の企業を選んだ理由

胆振という地域では特に決めておらず、知人からの紹介で会社を知った。スキルアップしたい気持ちと会社の業務内容がマッチすると思い選んだ。以前留学した先が都会だったので、自然の多い胆振地域を選択出来てよかった。

仕事内容

鮮魚の加工処理

仕事で大変なこと、やりがいを感じること

まだ入社間もないので、どれも仕事を覚えるのが大変。しかし周りの社員さんが色々と教えてくれるのでありがたい。

今後のキャリアビジョン、目標

以前は、お金をためて起業したいと思ったことがありましたが、今はまだ決めていない。これから徐々に仕事を覚えてから決めていきたい。

2 株式会社ホテルニュー王子

HOTEL NEW OJI

企業名	株式会社ホテルニュー王子	従業員数	367名（うち外国人社員14名）
業種	宿泊業、飲食サービス業（ホテル業）	外国人材採用状況	国籍別：インドネシア12人、メキシコ1人、フィンランド1人 在留資格別：技能実習12人、日本人の配偶者1人、技人国1人
設立年	2012年		
所在地	北海道苫小牧市表町4丁目3番1号		
資本金	1億円		

（1）企業ご担当者様からの声

外国人採用の経緯

新千歳空港構内で機内食の製造・搭載業務を行っているが、国際線の利用客数がピークになった2018年に従業員不足になり、空港ターミナルでも同様に人員不足から時給単価が高騰し、採用難に陥り、技能実習生の採用に至った。

苦労した点や課題

一番は言語の問題で、コミュニケーションをとるのが難しかった。

採用によって職場にもたらした効果

人員が充足し、社員の残業時間を減らすことができ、派遣社員の採用数も抑えられた。

(2)外国人社員様からの声　※技能実習の外国人社員様、数名にお話しを伺いました。

基本情報

国籍:インドネシア	滞在歴:2025年5月29日より機内食事業本部製造部にて12名雇用(現在半年経過)
在留資格:技能実習1号ロ	日本語:JLPT N5

来日、入社の経緯

- 日本でキャリアを積みたかった
- 調理が好きだったため
- 将来のための資金を稼ぐため
- 新しいことに調整したかったため
- 自分のスキルを磨くため

胆振管内の企業を選んだ理由

- 業務が自分に向いていると思った
- 人口が少ないため
- 給料が高いため

仕事内容

- 肉類を炒める、揚げる等の加熱調理
- 野菜・果物等のカット（非加熱調理）
- 機内食の盛り込み

仕事で大変なこと、やりがいを感じること

- 一緒に働いている日本人が優しいので仕事でもやりがいを感じる。
- 業務を覚えていく中で自分のできることが増えていくことがやりがいになっており、知らなかったことを学び、身に付けていくことがやりがいとなっている。

今後のキャリアビジョン、目標

- 母国でラーメン屋台を開きたい。
- 母国で介護士資格を取っているため介護士として働きたい。

3 株式会社久恵比寿

企業名	株式会社久恵比寿	従業員数	230名（うち外国人社員7名、外国人アルバイト20名）
業種	宿泊業、飲食サービス業（外食業）	外国人材採用状況	国籍別：ミャンマー2人、スリランカ2人、フィリピン1人、カンボジア1人、中国1人 在留資格別：特定活動（特定技能移行手続中）3人、特定技能2人、配偶者等2人
設立年	2008年		
所在地	北海道苫小牧市新富町2丁目3-4		
資本金	900万円		

（1）企業ご担当者様からの声

外国人採用の経緯

外国人アルバイトの採用がきっかけで、そのうち一人が社員として働きたいという申し出があった。当該者はもちろん、他の外国人アルバイトスタッフも働きぶりが良く、外国人の社員雇用を実施。また、日本人の配偶者という方もフルタイムで働いてもらったことなどがスタート。

苦労した点や課題

現在では日本語学校も経営していることから、生活サポートなどに労力を割いた。外食部門としては食材の扱い方、自分がやりたい仕事ではない場合の対応、暖かい国出身者が冬の通勤が辛いため退職するなどの課題があった。現在は外国人スタッフの雇用に関しては軌道に乗り、様々な課題にも柔軟に対応できるようになった。

採用によって職場にもたらした効果

明文化、画像化、映像化することの必要性が高まり、各種マニュアルの精度の向上、作業手順の明確化など、流ちょうな日本語が話せないスタッフと働くことにより、内部的な制度が整ってきたと感じる。また、一緒に働いている日本人スタッフも当たり前の存在として捉えられるようになってきた。

（2）外国人社員様からの声／一人目

基本情報

国籍：ミャンマー
在留資格：特定活動（特定技能移行手続き中）

滞在歴：滞在歴：HISAE日本語学校 卒業後、株式会社久恵比寿にてアルバイト1年、社員として勤務半年

来日、入社の経緯

日本で働きたいと思い、まずは日本語を学ぶためHISAE日本語学校へ入学した。学校の運営企業が久恵比寿のため、在学中からアルバイトとして勤務し、卒業後に入社した。

胆振管内の企業を選んだ理由

留学生の頃から久恵比寿でアルバイトをしており、職場のスタッフが優しく温かく接してくれた。その経験を通じて職場の囲気や人の温かさに魅力を感じ、卒業後もこの会社で働きたいと思い入社を決めた。

仕事内容

主にレーン内で寿司の握りや配膳を担当。その他、ネタの切り出し、ホール業務、在庫の確認やロス表の記入なども行い、現在はレジ業務についても勉強中。

仕事で大変なこと、やりがいを感じること

入社当初は仕事の進め方や日本語の理解に苦労したが、3か月ほどで慣れ、仕事の流れをつかめるようになった。やりがいは、難しかった作業を自力でこなせるようになった時や、時間内に仕事を終え成長を実感した時。お客様から「美味しかった」「日本語も上手」と声をかけられることが、何よりも大きな喜び。

今後のキャリアビジョン、目標

今後は仕事の知識や日本語をさらに身につけ、将来的には店長を目指したいと考えている。店舗によって業態が異なるため、どの店舗でも対応できるように幅広い経験を積みたい。将来的には、母国であるミャンマーに自分の寿司店を開くことも目標の一つ。

(3)外国人社員様からの声／二人目

基本情報

国籍:ミャンマー　在留資格:特定技能　滞在歴:株式会社久恵比寿にて勤務半年　日本語:JLPT N3

来日、入社の経緯

「家族を支えたい」という思いから来日し、初めに岩手県の食品水産会社で3年間勤務。元々接客業に興味があったため、飲食店での勤務を希望し、またミャンマー語での面接などサポート体制に安心感があったため久恵比寿への入社を決めた。

胆振管内の企業を選んだ理由

SNSで日本にいるミャンマー人向けに仕事を紹介している会社を見つけ、その会社を通じて久恵比寿を紹介してもらった。仕事内容を聞いたとき、自分に合っていると感じ、挑戦してみたいと思い転職を決意した。

仕事内容

握り、ホール業務やレジ、ネタ切り、バックヤードなど電話応対を除くほとんどの業務。

仕事で大変なこと、やりがいを感じること

土日はスタッフが不足することがあり、業務の負担が大きくなるときに大変さを感じる。お客様から「外国人なのに接客も日本語もできるんだね」と言われたり、上司から「ネタがきれいだね」と褒められたりすることが特に嬉しい。

また、お客様が自分の名前を見て「日本人じゃないの？」と驚かれることもあり、褒めてもらえること全般が大きなやりがいにつながっている。

今後のキャリアビジョン、目標

幅広い経験ができるよう、今の店舗だけでなくさまざまな店舗で接客を学びたい。その中で将来的に店長を目指したいという目標も出てくるかもしれない。日本であと10年ほど働いた後、母国で家族経営の居酒屋を経営面で支えたい。

4 とうや湖農業協同組合

企業名	とうや湖農業協同組合	職員数	98名（正職員＝67名、嘱託・準職員＝31名） （うち外国人社員（準職員）18名）
業種	農業		
設立年	1987年	外国人材採用状況	国籍別：インドネシア11人、ミャンマー6人、フィリピン1人 在留資格別：特定技能18人
所在地	北海道虻田郡洞爺湖町香川55番地7		

（1）企業ご担当者様からの声

外国人採用の経緯

JAとうや湖は令和４年から外国人材の受入を開始。当初は繁忙期のみの派遣からスタートし、その働きぶりを見て令和５年から準職員（特定の部署に所属し異動がない専門職）としての採用に切り替えている。

現在、準職員として18名を雇用し、繁忙期にはさらに20名程度を派遣で雇用する二段構えの体制。当初、女性の雇用が多かったのは、寮の関係で男女の区分けが難しかったことと、主な業務である選果場の選別作業に女性が適していたため。その後、自動車運転免許を持つ人材確保の必要性から男性（インドネシア人）も採用。男性職員は、女性職員よりも高度な作業（リフト操作、送迎など）を担当。

採用手法は、ウェブ面接のみでは定着率が低かったため、現在はまず派遣（トライアル）として３ヶ月間受け入れ、実際の作業内容や適性を見てから直接雇用（準職員）に切り替える手法を採用しており、これが定着率向上に繋がっている。

苦労した点や課題

現農村地帯のため、選別作業員となる日本人のパート人材（主に主婦層）の確保が困難化。高齢化が進む日本人の派遣労働者は夏場の残業に対応できない、といった課題があった。

採用によって職場にもたらした効果

外国人材は日本人の派遣労働者と比較しても、勤勉な姿勢で働いてくれる。また残業を希望する者が多く、繁忙期の労働力として非常に有用だと判断した。

準職員採用に伴う通年雇用（月給制）の課題として、冬場の閑散期の仕事確保があった。この対策として、新たにサツマイモ栽培を開始するなど、冬場の仕事量を確保するための取り組みを行っている。当初は職員が町のお祭りに連れて行ってあげていたが、今では外国人材が自ら地域の祭や行事に参加するなど地域にも馴染んでおり、地域活性化に繋がっている。

生活環境と支援

居住空間が最も重要と捉えており、町に協力してもらい廃校となった高校の寮や教員住宅を改修して提供。改修にはホクレンやJA中央会のサポートも活用。プライベートを尊重し、現在は一人一部屋を基本としている。（寮は最大40人利用可能）寮には常駐の管理者は置かず、職員が定期的に巡回し指導。

インドネシア人にはイスラム教徒が多いが、仕事中のお祈りはNGであることを面接の時点で伝え、ヒジャブも機械への巻き込み防止のため外すよう要請している。ラマダーン中の断食については本人の判断に任せている。日本語教育や資格取得のサポートは、監理団体に支援料を支払い委託している。ミャンマー人らはJLPT N2受験や特定技能２号への移行を目指し熱心に勉強している。

町では車移動が必須なため、免許取得者には農協の車の貸し出しを許可し、送迎や買い物に利用させている（プライベートでの利用は制限）。職員が定期的に若い職員のニーズに合わせ、買い物やスノーモービルなどの息抜き・レクリエーションに連れ出し、コミュニケーションを図っている。

もともと農家や職員のニーズから、フォークリフト技能講習を農協内で独自に実施。仮講習はＪＡ職員で実施できるので、費用負担も本講習のみで実施しやすい。そのため、外国人材にもこの制度を活用し資格取得を支援している。

行政への要望と新規受入企業へのアドバイス

行政への要望としては、自動車運転免許取得への手厚い支援があると嬉しい。また、フォークリフトなど作業機械の資格取得支援も有難い。

新規受入企業へのアドバイスとしては、住居の確保が最も重要で、「日本人と同じように住める環境」を提供すべき。外国人だからという区別をせず、従業員として国籍関係なく同様の考えで採用することが大事。地方では車がないと生活できないため、送迎や買い物のケアが必要で、職員とのコミュニケーション機会を作ることが重要。ただ日本人職員にも負担がかかるため、対応策が必要。

（2）外国人社員様からの声

基本情報

国籍：インドネシア　在留資格：特定技能１号　滞在歴：１年半　日本語：JLPT N3くらい

来日、入社の経緯

日本の農業を勉強してインドネシアで農業をやりたいし、母国の家族のためにも日本でお金を稼ぎたい。

胆振管内の企業を選んだ理由

登録支援機関を通してJAに入社した。

仕事内容

野菜選別、畑での収穫、ほかの外国人社員の通勤や買い物送迎のサポートなど。

仕事で大変なこと、やりがいを感じること

日本語の指示を理解するのに時間がかかったり、間違って理解して動いたりして注意されることがあったが、少しずつ仕事に慣れてくると新しい子たちに仕事を教えられるようになり、責任感が生まれて仕事が楽しい。

今後のキャリアビジョン、目標

もっと日本で働きたいので特定技能２号の試験に受かり、現場のリーダーになって給料も上がるよう頑張りたい。